

日本の成長戦略を体験しよう

政府は「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」*を閣議決定し、その実現に取り組んでいます。特に、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、あるいはパッケージ型インフラ海外展開といった項目は、APECにおけるテーマの1つである「成長戦略」の構築にも直結する取組です。

APECリーダーズウィーク開催に際して来日する多くのメディア関係者及び政府関係者の皆さんに、こうした我が国の強みを具体的に見聞・体験していただくべく、以下の訪問先を提案します。

これら施設への訪問を希望する方は以下の方法でお申し込みください。

下記1. 及び4. →横浜市が提供するプログラム「Tech & Sight-Seeing Tours In Yokohama」がごさいます。IMC内で配布するリーフレットもしくはウェブサイトをご覧ください。

それ以外の施設については、表示されている連絡先に直接接触してください。支援が必要な場合には、IMC内日本政府外国プレス発信班 (Tel.045-661-9530)、または(財)フォーリン・プレスセンター (Tel.03-3501-3405、03-3501-5070) までお問い合わせください。

2010年11月 日本国政府

*「新成長戦略」に関する詳細は次のウェブサイトをご参照ください。

<http://www.npu.go.jp/policy/policy04/index.html>

<http://edition.cnn.com/SPECIALS/2010/iiist/> (11月13日より22日まで)

*「Tech & Sight-Seeing Tours In Yokohama」ウェブサイト

<http://apec2010yokohama.com/yokohama/taizai/shisatsutour.html>

1. 横浜スマートシティプロジェクト (横浜市)

環境モデル都市「YOKOHAMA」が民間企業7社とともに開始した環境・エネルギー分野の実証プロジェクト。スマートグリッドや電気自動車 (EV) など最先端の技術を投入し、省エネ・CO2削減と経済成長の両立を目的とした市民参加の実証実験として注目されている。

APEC (ABAC, SME, CEOを含む) 識別証をお持ちの方を対象に、横浜市がツアーを提供しています。

11月7日～12日 各日3回程度ツアーを実施 (10:00、13:00、15:00)

申込方法はウェブまたはIMC内横浜市インフォメーションデスクで配布しているリーフレットをご覧ください。

連絡先: Tech & Sight-Seeing Tours In Yokohama (横浜市主催)

<http://apec2010yokohama.com/yokohama/taizai/shisatsutour.html>



2. ENEOS 創エネハウス (横浜市)

家庭部門からのCO2削減のためのプロジェクトを実践するためのモデル住宅。家庭用燃料電池システムや太陽光発電システムなど最先端の設備を整え、CO2排出量を1990年比50%削減し、実質的なカーボンフリー (CO2排出量ゼロ) を目指している。

連絡先: JX日鉱日石エネルギー株式会社

システムインテグレート推進事業部

新エネルギー企画グループ

担当マネージャー 小宮山 知成 様

担当マネージャー 蜂須 栄一 様

Tel. 03-6275-3519

(本施設のご見学は、11月8日午後、11月9日に可能です。事前予約をお願い致します。)

創エネハウス



3. 磯子火力発電所（横浜市）

世界最先端の熱効率と環境性能を誇る超々臨界圧（USC）の石炭火力発電所。横浜という大都市の中に立地している都市型発電所であり、ばい塵、硫酸化物、窒素酸化物、排水といった汚染物質の排出を極限まで削減した、世界最先端の環境技術を採用するとともに、高い熱効率を達成している。

連絡先： J-POWER 電源開発株式会社
設備企画部 部長代理
菅野 等 様
Tel. 03-3546-9623



4. 港北水再生センター、北部汚泥資源化センター（横浜市）

「水再生センター」では、家庭や工場から排出される汚水を高級・高度処理し、公共用水域の水質保全を図っている。また、一部の処理水をせせらぎなどに有効利用している。「下水道センター（汚泥資源化センター）」では、汚水処理の過程で発生する汚泥を焼却処理している。その過程で発生する消化ガスはエネルギーとして発電に、焼却灰は資源としてセメント原料などに100%活用している。



APEC（ABAC，SME，CEOを含む）
識別証をお持ちの方を対象に、横浜市がツアー
を提供しています。

11月8日 9:00～12:30

（港北水再生センター、日産スタジアム＆
横浜スマートシティプロジェクト）

11月9日 14:30～17:00

（北部下水道センター＆横浜スマートシティプロジェクト）



申込方法はウェブまたはIMC内横浜市インフォメーションデスクで配布しているリーフレットをご覧ください。

連絡先： Tech & Sight-Seeing Tours In Yokohama（横浜市主催）

<http://apec2010yokohama.com/yokohama/taizai/shisatsutour.html>

5. 勿来IGCC実証プラント（福島県いわき市）

最新技術を結集したIGCC（石炭ガス化複合発電）は石炭をガス化するなどして、従来型の石炭火力に比べ高い発電効率を実現した発電システム。国内のみでなく、海外における石炭火力の効率改善により、地球温暖化ガスの削減や環境性能の向上に役立つ発電システムとして期待されている。

連絡先：（株）クリーンコールパワー研究所
 業務部部长
 藤井 明 様
 Tel. 0246-77-3111



6. 海水淡水化センター（まみずピア）（福岡県福岡市）

人口や産業が集中する大都市圏での逼迫した水事情に対応するため、気象に左右されることなく、安定的に水を供給するために着手された海水淡水化事業。淡水化される水は日量最大5万立方メートルであり、約25万人の家庭が使う水を作ることが可能。

連絡先： 福岡地区水道企業団
 総務課総務係長
 田子森（たごもり） 秀己 様
 Tel. 092-552-1731



7. 柏崎刈羽原子力発電所（新潟県柏崎市）

日本海に面した新潟県に位置し、敷地面積は約420万平方メートル。7基の原子力発電設備（沸騰水型軽水炉：BWR5基、改良型沸騰水型軽水炉2基）の合計出力821.2万キロワットは、1カ所の発電所としては世界最大。ゼロエミッションの中核を担う原子力発電は安全性、環境性、経済性に優れた発電方式である。さらに先進炉であるABWR（改良型沸騰水型軽水炉）では開発段階から関与しており、建設・運転実績を持っているなど、原子力発電は日本の強みである。

連絡先： 東京電力株式会社(TEPCO)
 東京電力企画部経営調査グループマネージャー
 見学 信一郎 様
 Tel. 03-6373-1111



8. 亀田メディカルセンター（千葉県鴨川市）

千葉県南部の基幹病院。患者一人一人に合った質の高い医療を提供するとともに、QOL（Quality of Life：生活の質）の向上を目指しており、国内のみならず海外からの患者も積極的に受け入れている。

医療の品質改善において世界的リーダーであるアメリカの国際的医療認証機構 Joint Commission International（JCI）の認証を日本で唯一取得している医療機関である。

連絡先：医療法人鉄蕉会

経営管理本部企画部経営企画室

佐野 元子 様

E-mail : m.sano@kameda.jp

（院内見学に関しては、11月8日と12日を予定しております。見学時間の希望はメールでご連絡下さい。）



9. 東京国際空港新国際線旅客ターミナル（東京都大田区）

オープンスカイの一端として、本年10月21日、羽田空港に新国際線旅客ターミナルがオープン。これにより海外17都市と国内49都市が結ばれることとなり、さらなる訪日外国人旅行者の増加や地方の活性化が期待される。

連絡先：東京国際空港ターミナル株式会社

企画部長 平井 洋一 様

Tel. 03-6428-5901

旅客サービスセンター

Tel. 03-6428-0888

